

課題曲 II 風がきらめくとき

作曲:近藤礼隆



打楽器セクションワンポイントレッスン

SECTION 01 楽曲について

音楽的な変化(拍子の変化や転調、反復進行など)が多い作品です。作曲者の「風景や感情に何かきらめく瞬間」という言葉に関連しているのか、高音域の金属系打楽器が多く使われているのも特徴です。金属系の打楽器は「音楽の色彩感」とよく言われるように、一つ一つの音色にイメージをもって演奏することで色彩豊かで魅力的な音楽表現につながると思います。

ティンパニやバストラムにおいては、アタックの鋭さというよりも「低音の響きの存在感」が必要になりそうです。もちろん、音楽的に決める場面ではサウンドの要として、クリアなサウンドで表現してみてください。

「拍」をタイミングとしての時間経過で感じるのではなく、「拍子」をしっかりと意識して「音楽の流れ」や「音楽の方向性」を感じながら演奏することが求められると思います。

管楽器の仲間と一緒に練習すると「息遣い」を感じることができます。例えばブレスのスピードやタイミングをマレットの動きとどのようにリンクさせるかイメージできると「発音のニュアンス」やタイミングを揃えやすくなると思います。



レッスン執筆:小川裕雅

エリザベト音楽大学准教授、広島ウインドオーケストラ首席打楽器奏者
広島大学客員准教授

SECTION 02 演奏へのアドバイス

【Timpani】

▶ティンパニ

冒頭 大きい方から3台。マレットはミディアムソフト〜ミディアム。コントラバスがある場合、*pizz* (ピッチカート)のニュアンスをよく聞いてそろえる

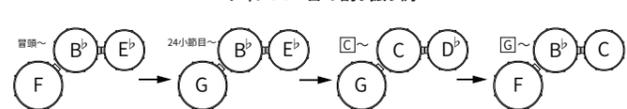
【B】〜 四分音符の表現を管楽器やコントラバスとそろえるように
24小節目 F→G

[34-35] 半音進行で響きが濁ってしまうので、C音のロールは程よいタイミングで切り上げ、Des音を演奏すると同時にC音をミュート

【G】〜 アクセントのサウンド感。バンドの状況により粒を出した方が良いか粒を出さない方が効果的か、検証が必要

[71]〜 アクセントサウンド、クリアな音色で一音一音の存在感が感じられるように

ティンパニ音の割り振り例

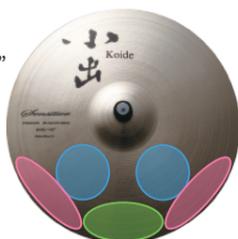


【Percussion 1】

▶サスペンドシンバル

使用している楽器について、どのポイントを狙うとイメージした音色で演奏できるか探してみる

- ・ロールの表現について
ロールの始まりの音色
=音楽の流れに乗って、良い意味で“緊張感”を持ってアプローチしましょう
ロールの終わりのニュアンス
=新しい何かが始まる!新しい音楽への「場面転換」として印象的な表現を



[71] *sec.* (セッコ) 音を止めるのも一つの表現
=止めるタイミングや止め方
楽器のどのポイントを狙うと効果的な音色が得られるか検証

▶ウインドチャイム

- ・グリッサンドの音色感
紐の部分を狙うかバーに直接触れながら演奏するか=音色の違いを聞いて判断
- ・デクレッシェンドの表現
例)バーを直接触れる→紐へ など狙う場所を変化させることで音響効果を高める

▶トライアングル

- ・タイミング
音楽の流れに乗って演奏するために、フレーズを歌いながら練習息を吹きかけるようなコントロール
- ・音色
倍音のコントロール=ピーターの太さやかまえる角度によって変化

【Percussion 2】

▶バストラム

前半 低音楽器のサポート アタックのニュアンスを管楽器やコントラバスにそろえる感覚

ティンパニと同じリズムを演奏している場面では、ティンパニの音程感を支えるようなニュアンスで

▶クラベス

ピッコロのフレーズの流れにのって、木の素材感が伝わるような温かい音色で。金属とは全く違うサウンドの表現

【Percussion 3】

▶グロッケン

・オクターブのサウンドバランス
「均等」「低音を強調」「高音を強調」→それぞれの特徴をよく聞いて効果的なサウンドバランスを探す

・マレット

高音木管楽器との音色的なバランスを意識する
和音を演奏する場面では、左右の音色バランスに注意
場面によっては金属(アルミ・プラス)のものを選ぶのも効果的か
オクターブの場面では左右の種類を変えるのも効果的か

▶スレイベル

- ・デクレッシェンドの表現
「音量を小さく」というイメージだけでなく、例えば「響きが遠ざかっていく」などのイメージを加えて表現
- ・楽器を「持つとき」と「置くとき」に音が鳴らないよう注意

※本文中の【】内の記号は楽譜の練習番号、[]内の数字は小節番号を示しています。

SECTION 03 楽器へのアドバイス

課題曲 II / 風がきらめくとき 使用楽器リスト アドバイス by 小川裕雅

Timpani

楽器名	アドバイス/楽器	弊社当該商品	アドバイス/マレット&ピーター	弊社当該商品
ティンパニ	大きい方から3台	マジスティック/シンフォニック・シリーズ	○前半 アタックがほやけのない程度のミディアムソフト〜ミディアム ○後半 自重が軽めのミディアム〜ミディアムハード	○前半 クリアード/CR-Timp13 クリアード/CR-Timp14 ○後半 K.M.K./KK-TMK03 K.M.K./KK-TMK04

Percussion 1

楽器名	アドバイス/楽器	弊社当該商品	アドバイス/マレット&ピーター	弊社当該商品
サスペンドシンバル	比較的明るいサウンドのもの 17〜18インチくらい	小出シンバル/10J-in17CSM 小出シンバル/10J-in18CSM	ヘッドが小さく、ミディアムハード〜ハードのマレット 適度に音の粒が聞こえるもの	ロン・ヴォーン/RVN-CymM4R, RVN-CymM5R
ウインドチャイム	音程の差が聞こえるもの バーの数が少ないよりは多い方が良いか	ツリー・ワークス/TW-TRE630 ツリー・ワークス/TW-TRE35		
トライアングル	高音すぎるよりも、 程よく落ち着きのあるサウンドのもの	K.M.K./KK-TCS812N K.M.K./KK-TCS812C STUDIO49/SD-TI3	弱音でも音色感が乏しくならないよう、 重さのあるためのピーターでのアプローチ	K.M.K./KK-TB5 K.M.K./KK-TB720S

Percussion 2

楽器名	アドバイス/楽器	弊社当該商品	アドバイス/マレット&ピーター	弊社当該商品
バストラム	チューニングをこだわってみましょう。表面と裏面のヘッドバランス、様々試して納得のいく音色を作りましょう 楽器のサイズはバンドの編成によるかもしれません	レフィーマ/LF-BD36 レフィーマ/LF-BD32	軽いものよりは少し重量感のあるもの ヘッドは大きめ、アタックが出すぎないもの	K.M.K./KK-BMDY04 K.M.K./KK-BMDY-RWL レフィーマ/LF-301L アンコール・マレット/EM-B1
クラベス	木の素材感がしっかり伝わるもの 余韻が感じられるもの	K.M.K./KK-SCLR27K		

Percussion 3

楽器名	アドバイス/楽器	弊社当該商品	アドバイス/マレット&ピーター	弊社当該商品
グロッケン	ハーモニーのバランスが大切です。余韻がきれいに響くもの	マジスティック/MJ-B3125S	少し重ためのヘッドの大きなもの、加えて金属系も◎ 楽器との相性があるので、いろいろ試してみてください	K.M.K./KK-ML28* K.M.K./KK-MGL25* K.M.K./KK-MGL28* サトー・マレット/ST-BRM
スレイベル	余韻が長いもの。音程は高め	グローバー/GV-SBCB サウンドキング/KU-SBL		

※品番に*印のついた商品は、今後発売予定の新商品です。